

(4) しまね働く女性きらめき応援会議（文書意見照会）

基本目標 重点目標	項目	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
1 計画全般	全体 第1章 1 基本的な 考え方 (P1)	第1章の「1 計画策定の趣旨」において、「固定的な性別役割分担意識の一定の解消」とあるが、「一定の解消」を具体的に記載したほうがよいのではないか。	ご意見を受けまして、P24、25（現状と課題）において、過去10年の固定的な性別役割分担意識の状況を記載と図表39を追加しました。 【追加】（P24、25） 加えて、「男は外で働き、女は家庭を守る」というような固定的な性別役割分担の考え方については、施策の進捗状況を図るため、毎年実施している島根県政世論調査においても調査を実施しています。過去10年の島根県政世論調査によると、固定的な性別役割分担意識に否定的な人の割合が徐々に向上しており、社会全体として固定的な性別役割分担意識の一定の解消が図れていることが分かりますが、第3次島根県男女共同参画計画における令和3年度の目標値80%には届いていません（図表39）。
2 計画全般	全体 第1章 1 基本的な 考え方 (P1)	第1章の「1 計画策定の趣旨」において、「新型コロナウイルス感染症の影響や変化を踏まえて」とあるが、具体的な課題や方向性について記載したほうがよいのではないか。	第1章の「4 計画策定にあたっての横断的な視点」の「(1)新型コロナウイルス感染症の影響」において、課題や方向性を記載しています。
3 基本目標Ⅰ 重点目標1	取組8 (P45)	取組8について、島根県の委託を受けて、看護協会がナースセンターを運営しています。少子化が進む中で、免許を持つ方がそれぞれのライフサイクルやライフスタイルに合わせた働き方や働く場所の相談を行っています。これからその必要性は増すと考えます。 「ナースセンター」の存在を知っていただくためにも、「ナースセンター」の名称を入れていただきたいと思います。	ご意見を受け、下記のとおり取組を追記しました。 【修正後】（P45） 取組8 女性医師や看護職員の離職防止や復職支援などを行う「えんネット（島根大学医学部地域医療支援学講座）」や「ナースセンター（島根県看護協会内）」などと連携し、女性医師や看護職員が安心して就業できる環境づくりに取り組めます。（医療政策課、高齢者福祉課）
4 基本目標Ⅱ 重点目標6		地域で男女共同参画の推進に向けて活動する人と公民館がより連携がとれるような取組を検討していただきたい。	男女共同参画の推進に向けて、県や市町村と一緒に啓発活動を行う方を「島根県男女共同参画サポーター」として委嘱しています（R3.9時点121名）。サポーターが地域で啓発活動を行う際に、地域の拠点である公民館と連携を図り協力を得ることは、活動を円滑に進める上で有効だと考えられます。今後、公民館の方々とサポーターとが連携を図ることができるよう、サポーターの活動内容等を周知していきたいと考えております。
5 基本目標Ⅲ 重点目標9	数値目標21、 22 (P37)	乳がん・子宮がん検診受診率の目標値（数値目標21、数値目標22）について、R7の受診率目標値50%は低いように感じます。 男女を問わず仕事と生活を両立する上で健康管理・予防は重要です。女性の乳がん・子宮がん検診を受診していなかったため発見が遅れたという事例を多く聞きます。 人口増が簡単でない現代、生産年齢における女性の労働力率が全国1位の島根県であれば、「職場の定期健康診断にがん検診を追加で行うことが可能であれば事業所が費用を負担し、支払い後、県が助成する」「がん検診費用を県が負担する」等、働く人を具体的に守る新しい仕組みはできませんでしょうか？	がん検診は、市町村が健康増進法に基づき実施するものと、職場等の福利厚生の一環として任意で実施されるものがあり、法的根拠がない職場でのがん検診については、各事業所により様々な状況です。 県としては、現在、職域におけるがん検診の現状把握に取り組んでいるところであり、その結果を踏まえ、今後、がん検診実施主体である市町村とともにどのような支援が可能かも含めて検討していきたいと考えています。 また、併せて、より受診しやすい環境整備に向け、例えば、居住地の市町村を越えて検診受診できる検診広域化や時間外・休日検診の拡充等についても取り組んでいるところです。